
ALV300
機能説明

特徴

ラベル幅及び検査速度

幅 40 mm から 120 mm までのラベルを最高毎秒 115 mm の速度で検査し巻き取ることができる。

ラベル送りのスピードは、可変になっているのでラベルごとに搬送速度を変更し最適な検査速度を設定することができる。（毎秒 65 mm から 115 mm の範囲で調整可能）

検査ソフトが対応できるならラベル送りのスピードは、毎秒 300 mm 以上を実現できる。

ラベル検査ソフトがこのスピードに対応している場合、高速なラベル検査を行うことができる。

特徴

巻取りテンションの制御

巻取り部では、テンション検知センサを装備しているので巻取り径の変化にも追従し常に最適なテンションを保ってラベルを巻き取ることができる。

直径 最大400mmのロール状ラベルの検査に対応している。

自動停止

最後のラベルが検査されると自動的に停止するようになっており一度ラベルをセットし検査を開始した後は、監視をつづけている必要はない。

斜行、蛇行対策

検査時のラベルの蛇行、斜行が発生しにくい機構になっており安定した速度のコントロールを行っているため、高精度なラベルの検査・検証を行うことができる。

特徴

異常検知時

搭載検査ソフトでラベルの異常を検知した場合、ラベルの搬送が自動で停止し修正作業（張替え、剥ぎ取り、マークなど）に対応できる。

異常ラベルの停止位置も自由に設定でき作業効率の向上を図ることができる。

停止する時も、次に検査を再開するラベルの検査に影響を与えないよう巻取り機、検査部でのラベル送りローラーの速度をコントロールしている。（異常ラベルの処理が終わり検査再スタート時には、スロースタートを行いラベルへダメージを与えないようになっている。）

特徴

対応検査内容

一枚目のラベルから最後のラベルまで全てのラベルを検査・検証できる。

ラベルの検査・検証内容は、搭載する検査ソフトによって変わるが標準としてバーコード検証・ラベル検査分野で十分な実績のあるLSVS7500を搭載しており要求の有るほとんどの検査に対応できるものとなっている。

対応する検査項目（詳細）

- ・1次元バーコードの読取、ISOの規格に基づいたグレード検証
 - ・全ての1次元バーコードに対応

- ・2次元コードの読取、ISOの規格に基づいたグレード検証
 - ・QRコード、データマトリックスなどの2次元コードに対応

（サポートしている主なシンボロジーと規格）

GS1データバー	QRコード
GS1データバーリミテッド	マイクロQRコード
GS1データバースタック	データマトリックス
GS1コンボジット	PDF417
EAN-8&13	マイクロPDF
UCC/EAN128	コード39
UPC-A&E	インターリーブド2of5
ITF14	各種ファーマシーコード

- ・文字認識(OCR)、文字検証(OCV)
 - ・最小5ポイントから認識
 - ・ラベル面のデータの各種照合機能

- ・ラベル面の文字欠け、汚れ検査
 - ・曲がり、見当ズレ、抜き不良、エッジ不良、欠け、文字欠落
 - ・最小検出サイズ 0.064mm
 - ・検査領域に可変データが含まれていても対応可能

- ・検査データ
 - ・全検査データを自動保存
 - ・異常個所については、画像データも保存